

2020年2月25日

好評のヤマハギター各シリーズにラインアップを拡充する新製品が登場

ヤマハ エレクトリック ナイロンストリングス ギター 『NX シリーズ』

ヤマハ サイレントギター 『SLG200 シリーズ』

ヤマハ エレキギター 『PACIFICA112 シリーズ』

ヤマハ エレキベース 『TRBX300 シリーズ』

ヤマハ株式会社は、ギターの新製品として、エレクトリック ナイロンストリングス ギター『NX シリーズ』、サイレントギター『SLG200 シリーズ』、エレキギター『PACIFICA112 シリーズ』、エレキベース『TRBX300 シリーズ』を3月7日（土）より順次発売します。

■エレクトリック ナイロンストリングス ギター 『NX シリーズ』



ヤマハ エレクトリック ナイロンストリングス ギター 「NX シリーズ」

左から『NXG1C NT』 『NTX3 BS』 『NTX5 NT』

このたび発売する『NX シリーズ』は、ナイロン弦ギターサウンドの特徴である“やわらかく、丸みのある音色”をそのままラインアウトできるエレクトリックナイロン弦ギターです。クラシックギターの演奏感覚を備えたデザインの「NXG」、一般的なアコースティックギターの演奏感覚を備えたデザインの「NTX」の2種類のボディタイプをラインアップとし、音響解析シミュレーションを駆使して、豊かな鳴りと温かみのあるサウンドを追求しました。上位モデルには新ピックアップシステムを搭載し、ステージ上でもアンプを通してナイロン弦ギターの自然な生音を表現できるサウンドを実現しました。

品名	品番	価格(税抜)	発売時期
ヤマハ エレクトリック ナイロンストリングス ギター	NCX1 NT	58,000 円	3月7日(土)
	NCX1C NT	58,000 円	
	NCX1FM NT	68,000 円	
	NTX1 NT/BS/BL	58,000 円	
	NCX3 NT	105,000 円	2020年秋予定
	NCX3C NT	105,000 円	
	NTX3 NT/BS	105,000 円	
	NCX5 NT	180,000 円	2020年冬予定
	NTX5 NT	180,000 円	

◎初年度販売予定数(国内)：合計1,400本

※品番の末尾はカラーを表しています。NT：ナチュラル、BS：ブラウンサンバースト、BL：ブラック

## <主な特長>

### 1. 新デザインのブレイシング(響棒)がもたらす豊かな鳴り

最新の音響解析シミュレーション技術を駆使した疑似試作と、木工製作による工程を組み合わせる改良を重ね、ボディ内部の響棒を新たに開発しました。クラシックギター製作で培った経験や知識も活かし、「NCX」、「NTX」それぞれの胴型に最適な響棒とその配置により、豊かな鳴りと温かみのあるサウンドを実現しました。



新デザインのブレイシング

### 2. プレイヤーのニーズに応える2種類のボディ形状

12フレット接合の厚めの胴体で一般的なクラシックギターの演奏感覚を備えたデザインの「NCX」と、14フレット接合の薄い胴体、狭めの指板幅で一般的なアコースティックギターの演奏感覚を備えたデザインの「NTX」の2種類のボディ形状をラインアップしました。「NCX」ボディでは、普段クラシックギターを弾いているプレイヤーはもちろん、フラメンコ、ポップスなど、幅広いジャンルの音楽でお楽しみいただけます。「NTX」は握りやすく細めのネックを特徴とし、スチール弦アコースティックギターやエレキギターのプレイヤーにも演奏しやすいスタイルになっています。

### 3. 好みに応じて選択できる豊富なカラー&モデルラインアップ

2種類のボディ形状、3つのグレードに、材質の異なる木を使用した豊富なカラーバリエーションの計12品番をご用意しました。エントリーモデルで表板にシトカスプルーズ単板を採用した#1グレードの『NCX1』では、表板に米杉(べいすぎ)単板を採用した『NCX1C』、側裏板フレームメイプルを採用した『NCX1FM』をラインアップに加えました。同じ#1グレードの『NTX1』では、ナチュラル、ブラウンサンバースト、ブラックの豊富なカラーバリエーションも用意し、好みに合わせて選んでいただけます。上位モデルの#3、#5グレードでは、弦の振動を素直に伝えるオール単板仕様で、#5グレードは、日本国内で熟練した技術者の手で製作されたメイドインジャパンモデルとなっています。

#### 4. 上位モデルには新開発ピックアップシステム「Atmosfeel（アトモスフィール）」搭載

幅広い音楽ジャンルや演奏スタイルに応える豊富なラインアップの#1 グレードには、ボディの生鳴りを損なうことなくナイロン弦サウンドをありのままに表現できる「アンダーサドル型ピックアップ」を搭載する一方で、上位機種 の#3、#5 グレードには、新開発の 3 ウェイハイブリッドピックアップシステム「Atmosfeel（アトモスフィール）」を搭載しました。アンダーサドルピックアップで弦の振動を、ボディ内部に装着したコンデンサーマイクでギター胴内の空気感を、表板裏面のコンタクトセンサーピックアップで表板の鳴りをそれぞれ集音し、3つの音を組み合わせることで幅広いダイナミクスとプレイヤーの繊細な指の感触に応え、自然なナイロン弦サウンドを余すことなく表現します。本体側面にあるつまみによるシンプルな操作で、ソロプレイ、バンドアンサンブル、弾き語りなど、多彩な演奏スタイルに適したサウンドメイキングが可能です。



#### 5. ナイロン弦ギター2本で世界を魅了するロドリゴ・イ・ガブリエーラ監修の最上位モデル

最上位モデルの#5 グレードは、メキシコ出身のアコースティック・ギターデュオ“ロドリゴ・イ・ガブリエーラ”が監修したモデルです。『NCX5』は、表板エッジの面取り加工を特徴とし、情熱的なリズムを刻むプレイスタイルでの快適な演奏感を実現しています。『NTX5』は 24 フレット仕様を施し、独創性豊かなリードプレイをサポートします。『NCX5』『NTX5』共に、内ラベルに二人のサインを入れています。



ロドリゴ・イ・ガブリエーラのサイン入りラベル

製品仕様の詳細は、製品サイトをご参照ください。

[https://jp.yamaha.com/products/musical\\_instruments/guitars\\_basses/cl\\_guitars/nx\\_2020/](https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/guitars_basses/cl_guitars/nx_2020/)

## ■サイレントギター『SLG200 シリーズ』



ヤマハ サイレントギター『SLG200 シリーズ』

左から、ナイロン弦仕様の『SLG200N CRB』、スチール弦仕様の『SLG200S CRB』

このたび発売するナイロン弦仕様の『SLG200N CRB』、スチール弦仕様の『SLG200S CRB』は、サイレントギター『SLG200 シリーズ』のカラーバリエーションモデルです。深みと落ち着きのあるクリームズンレッドバーストカラーが、木目の映える鏡面仕上げと相まって、個性豊かな外観を演出します。

品名	品番	価格(税抜)	発売時期
ヤマハ サイレントギター	SLG200N CRB	73,000 円	3月7日(土)
	SLG200S CRB		

※品番の末尾はカラーを表しています。CRB：クリームズンレッドバースト

### <主な特長>

#### 1. 空気感豊かに響くリアルなアコースティックサウンド

深みのある豊かなアコースティックサウンドを実現する「SRT (Studio Response Technology) パワード」システムを採用しています。ピエゾピックアップからの信号を音響処理し、スタジオで一流のエンジニアがマイク録音したかのような上質なアコースティックサウンドを得ることができます。



#### 2. アコースティックギターに近い自然な演奏感と機能性の高さ

細めのネックと共鳴胴のない独創的なデザインボディ形状により、アコースティックギターの自然な演奏感を実現しました。また、片方のフレームを取り外すことで付属の専用ケースにコンパクトに収納でき、可搬性に優れています。

製品の仕様は既存の『SLG200 シリーズ』と同様です。詳細は、製品サイトをご参照ください。

[https://jp.yamaha.com/products/musical\\_instruments/guitars\\_basses/silent\\_guitar/slg200\\_series/](https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/guitars_basses/silent_guitar/slg200_series/)

## ■エレキギター『PACIFICA112 シリーズ』



ヤマハ エレキギター『PACIFICA112 シリーズ』

左から『PAC112V UTB』 『PAC112V VW』 『PAC112VM GRY』 『PAC112VM ICB』 『PAC112VM SOP』

このたび発売する『PAC112V UTB/VW』 『PAC112VM GRY/ICB/SOP』は、高いポテンシャルで結実した充実の基本性能をもったベーシックモデル『PACIFICA112 シリーズ』のカラーバリエーションモデルです。入門機種でありながら「アルニコVマグネットピックアップ」を搭載し、本格的なビンテージサウンドを出力します。

品名	品番	価格(税抜)	発売時期
ヤマハ エレキギター	PAC112V UTB/VW	36,000 円	3 月下旬
	PAC112VM GRY/ICB/SOP		

※品番の末尾はカラーを表しています。UTB：ユナイテッドブルー、VW：ヴィンテージホワイ、GRY：グレー、ICB：アイスブルー、SOP：ソニックピンク

### <主な特長>

#### 1. 独自開発の「アルニコVマグネット」ピックアップ

シングル、ハムバッキングともにヤマハが独自で開発した「アルニコVマグネット」のピックアップを搭載しました。クリアで音ヌケがよく、アンサンブルに埋もれないタイトで本格的なビンテージサウンドを生み出します。

#### 2. コイルタップ機能による幅広いサウンドバリエーション

シングル、ハムバッキングを素早く切り替えるコイルタップ機能により、ハムバッキング→シングル、シングル→ハムバッキングの切り替えが演奏中でも瞬時に行え、ハードなディストーションサウンドからエッジの効いたシングルコイルサウンドまで、幅広いサウンドメイクを楽しむことができます。



製品の仕様は既存の『PACIFICA112 シリーズ』と同様です。詳細は、製品サイトをご参照ください。

[https://jp.yamaha.com/products/musical\\_instruments/guitars\\_basses/el\\_guitars/pacifica/pac\\_100.html](https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/guitars_basses/el_guitars/pacifica/pac_100.html)

## ■エレキベース 『TRBX300 シリーズ』



ヤマハ エレキベース 『TRBX300 シリーズ』  
左から 『TRBX304 FTB』 『TRBX305 FTB』

このたび発売する『TRBX304 FTB』（4弦タイプ）、『TRBX305 FTB』（5弦タイプ）は、瞬時に音色を切り替えられる「パフォーマンス EQ スイッチ」を搭載した『TRBX300 シリーズ』のカラーバリエーションモデルです。ビギナーはもちろん、音色にこだわるプレイヤーの深いサウンドメイキングが可能です。

品名	品番	価格(税抜)	発売時期
ヤマハ エレキベース	TRBX304 FTB	43,000 円	3月下旬
	TRBX305 FTB	49,000 円	

※品番の末尾はカラーを表しています。FTB：ファクトリーブルー

### <主な特長>

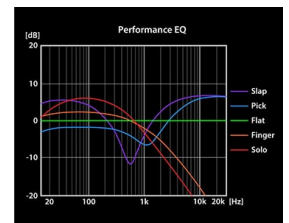
#### 1. スリムなシェイプから想像を超えるパワフルな低音

抜群なフィット感のスリムネックは、スムーズなフィンギングを可能にするだけでなく、反りやねじれに強いメイプル/マホガニーの5ピースラミネート構造を採用し、耐久性も優れています。立体的なカットを施したボディは、軽量化と心地よいフィット感で十分な体積を確保し、パワフルな低音を生み出します。



#### 2. ベーシストのモチベーションを刺激するアクティブ・サーキット

奏法・シーンに合わせた音作りを簡単にセットできる「パフォーマンス EQ スイッチ」を搭載しました。「スラップ」「ピック」「フラット」「フィンガー」「ソロ」の5種類のEQセッティングをプリセットし、スイッチ切り替えにより瞬時に選択できます。



製品の仕様は既存の『TRBX300 シリーズ』と同様です。詳細は、製品サイトをご参照ください。

[https://jp.yamaha.com/products/musical\\_instruments/guitars\\_basses/el\\_basses/trbx/300series.html](https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/guitars_basses/el_basses/trbx/300series.html)

## <ご参考>

これらの製品を、4月11日(土)、12日(日)に大阪ATCホールにて開催される「サウンドメッセ in OSAKA」の株式会社ヤマハミュージックジャパンの展示ブース内にてご体験いただけます。

「サウンドメッセ in OSAKA」ウェブサイト：<http://sound-messe.com/>

\*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

\*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

---

### ■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：稲満 (いなみつ)

TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/) (取材申し込みや画像ダウンロードが可能です)

### ■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン お客様コミュニケーションセンター

TEL. 0570-056-808 (ナビダイヤル、全国どこからでも市内通話料金)

---